

2025 年 7 月
No.481 号

はじまりは一滴の想い。

その波紋は今も静かに、確かに広がり続けています。

40th ANNIVERSARY

40 年という長い歩みを共にしてくださった全ての皆様に感謝の気持ちを込めて、心よりお礼申し上げます。

波紋が本号にて 40 周年を迎えることとなりました。これも編集活動を受け継いできた歴代編集長と波紋編集委員の皆様、そして一つ一つの記事を執筆していただいた皆様のおかげです、ありがとうございます。「波紋」という社内報名ですが、森顧問が小学校時代の学級新聞の名前が由来と聞きました。これからも、社内のみならず森松に関わる皆様への情報発信の場として 50 年、60 年と会社事業とともに継続して参ります。元々紙媒体であったこの波紋も、デジタル化に伴いウェブサイト上に公開することでより多くの方々に読んで頂けるものとなりました。近い将来にはこのデジタル化も、もう一段階進んだ形になるものと想像しております。私自身は、入社以来 27 年が経過し、波紋執筆の年を順調に重ねておりますがふとした時に自分が過去に書いた記事を見ると、当時の自分の状況を思い出し様々な記憶が掘り起こされます。これからも、自分自身が良い「波」を起こし、それが社内に浸透していくものの一つとなるよう、この波紋を継続していきます。今後とも、よろしくお願い致します。

代表取締役社長 森 直樹

肩の痛み

光田 昭男（営業部）



右肘と右肩の痛みが完治したと思いきや、左肩と左腕が痛むようになり、困っているのが、夜中に激痛で、3 時頃には、腕をさする状態が、続いています。四月の月上旬に整形外科で MRI とレントゲン検査の結果。病名は、石灰沈着性腱板炎と言われました。聞いたこともない病名で、肩の腱板に石灰が沈着し、炎症や痛みを引き起こす病気のようにです。病状は激しい肩の痛みで、特に夜中に痛みが強くなり、多くの場合は、適切な治療で自然に軽快するようですが、約二ヶ月経過していますが、完治はしていません。右肘と右肩はパーソナルジムへ週一回の筋トレで、何故か完治しましたが、今回は肩の激痛で、腕を上げることが出来ず、筋トレでは、完治しないようです。毎朝、不自由なのがズボン履いてからのベルト通し、Y シャツを着る時の腕を後ろへ廻すなど、変な格好をすると激痛が走りとても痛いのです。現在も散歩（ゴルフ）へは行っていますが、やはりフルスイングは出来ない状態です。薬とアルコールで誤魔化しながらのラウンドです。カップインしたボールを拾い上げる時に、左手に持ったクラブで身体を支える動作をすると左腕に激痛が走り、ボールを拾うときには特に注意をしています。病気の原因を調べても、不明のようです。年齢やホルモンバランスの変化、肩の使い過ぎなどが関連しているようです。治療は、まずは保存治療が中心で、痛み止めの内服や、ステロイド注射などが行われ、改善が見られない場合は、体外衝撃波治療や、石灰の注射吸引など穿刺吸引の方法があるようです。私も現在痛み止めを飲んでいますが、完治はしないので、保険が効かないのですが、体外衝撃波治療を試す予定です。



サザンライブ千秋楽と茅ヶ崎芸術花火

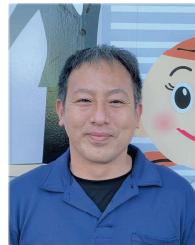
河嶋 桂子（東京オフィス）



5/29 に東京ドームで行われたサザンオールスターズの全国ツアー千秋楽に行ってまいりました！ファンクラブに入っている高校同窓が当選して、昨年の 11 月からワクワクしておりましたが、言葉では言い尽くせない感動のひと時を過ごすことが出来ました。平均年齢 69 歳のサザンオールスターズのメンバーが 2 時間半を超えるライブをほぼ休むことなく演奏する姿、声、楽器の音色、全てが素晴らしく、曲の間のお話も桑田さんらしい、楽しく、でも謙虚で、観客への配慮を常に考えていて、始めから終わりまであっという間に夢のような時間が流れていきました。今回のツアーは規模も大きく、立派に完走されたのも驚きですが、この日も声も絶好調で、桑田さんはじめメンバーの皆さんの日々の努力は相当なものなのだろうと思いました。まずはゆっくり休んで欲しいですね。今はコンサートやライブ、美術館など QR コードで入場するのは、どこも導入されていて一般的なのですが、転売防止のため更にハードルが高くなっていました。スクリーンショットの QR コードは NG でチケットを取得した人からのスマホへの分配作業が必須となっており、チケット取得者以外も、アプリのダウンロード、個人情報、顔写真入りの身分証明書の提示や入力が必要で、当日無事分配作業が終わるまでドキドキしました。結局難しい事は何もなかったのですが、上手いかない同年代の方に質問を受けたりしました。サザンオールスターズは、結成 47 周年ですが、50 周年目指して活動が続けると大変意欲的でしたので、ファンとしてはとても楽しみです、元気をもらえるライブをまだまだ続けて欲しいですね。そして、こちらは当選がライブよりはハードルが低めですが、6/7 開催の「茅ヶ崎サザン芸術花火 2025」も行ってきました。サザンの曲に合わせて美しく演出された花火は何度見ても圧巻で、他の花火大会とは違う世界観を楽しみました。ただ茅ヶ崎駅からサザンビーチまでの人で溢れた道のりの往復と帰路の駅前の大混雑がかなり大変で、いつまで行けるか、今回が最後かと友人と談笑しながら、サザンオールスターズに、その楽曲に、友人に感謝の気持ちでいっぱい時間を過ごすことが出来ました。

娘さん、息子さん、そして（方言）

松井 栄志（配送部）



わたくしの娘さん、去年のお誕生日に買ってもらった子供用お化粧セットで何かにお目覚め。クリスマスには、サンタさんにメイクセットをもらい、さらにお目覚め（しもたー）わたくしには、なんでもない日にメイクボックスをおねだり（てにやわん）はい、お買い上げ。その時、背後に何か厳しい視線を感じましたが、それはまた別のお話。わたくし、たまにメイクモデルをやらされ、少しでも動くとやられます（おじー）さらに、わたくしの顔をスマホで撮って、その写真に加工でお化粧をし、ゲラゲラと一人高笑い（ひったまがる）そしてみんなに送信（でーじゃこりゃ）またお兄ちゃんと2人で写真を見ながらゲラゲラ大笑い（どんげ?）そんなお兄ちゃんに、「お兄ちゃんもメイクしてもらったら?」と言うと、「黙れ、ボケ、カス、クソ、デブ」（げな!）しかもものすごい早口（なして?）言われた私（もぞなぎー）これをオウム返しで言い返そうと



すると噛んでしまう私（やいや）なので追いかけます。エガちゃんのように追いかけます。そしてバテます（だれるばい）そんなお兄ちゃん、わたくしの息子さんですが、鈴鹿サーキットに行ったあたりから、妹さんの小さい自転車がお気に入り、で、乗り回してはブンブンブン!ブンブンブン!言っておられます（よだきー）そして、自転車でドリフト〜とか言いながら後輪を滑らせてドヤ顔（なんしちよっと）さらにもう一回やりドヤ顔（はばしいって）ちょい、ちょい…と言ったところで、「わかった、わかった」と被せてきました。まだ何も言っておりませんが…。そこからまたドリフトをしグッドを出してドヤ顔（しんきなー、親指たてんて）こんな感じで方言がでちゃいますが、家族みなさん意味分かってるとかいけないとか（いいとけ?いっちゃが、いっちゃが…）

日間賀島

西垣 浩司（製造部）



先月、久しぶりに近隣にいる同級生（3名）と日間賀島に行ってきました（一泊のみですが）。観光で人気のある島の中で、小さな面積ながら、観光客数はナンバーワン。『気の置けないおもてなしの島』としても観光客が訪れるそうです。豊富なアクティビティは夏には海水浴が楽しめるほか、春から秋にかけて開催される自然体験では、イルカとの触れ合い・タコのつかみ取り・漁船クルージング・干物づくり・底引き網漁などの漁業体験も用意されている。又、1年を通してサイクリング・見どころ散策・パワースポット巡り・堤防釣りや船釣りも楽しめて、近年では『癒やされる旅』『元気になる旅』の観光地としても人気で、海のリラクゼーションプログラム・低カロリーでミネラル豊富な健康料理・ドルフィンアシステッドセラピー（イルカとのふれあいを通して、体と心の健全育成を促進するヒーリング療法）などが経験できます。夏期にはキッズアドベンチャーも人気です。シーカヤック・ウミネコウォッチング・ハンドクラフト・磯のミク



ロードベンチャー・シュノーケリング・火おこし体験などの冒険に挑戦できます。四季折々の旬の味覚や、名物の一つ「タコ」は日間賀島のシンボリックな存在で、西と東の港には大きなタコのモニュメントが置かれるなど、多くの人たちに親しまれています。豊かな海の幸は一年中色々な味わい楽しめて、いつ訪れても新鮮な魚介類を満喫できます。ちなみに日間賀小学校の校歌では『知多半島の東に浮かぶゆめの島』と歌われているそうです。日常生活を忘れるくらい島での時間を心行くまで同期達と楽しむことが出来ました。

森社長、中国出張へ行く



- 広東省東莞市、浙江省温州と文具加工メーカーを視察しました。コロナ禍明けて以来、実に6年ぶりの中国でしたが生活環境面では大いに変化がありました。
- QRコード決済が普及していると聞いていたが実際現金払いを求められる場面は一度も無し。
- 名刺交換ではなくメッセージアプリのWechat交換しましょう、というところから始まる。カタログデータもメール代わりにWechat経由で送ってくれるのでこれだけでほぼ完結している。
- 電気自動車が非常に普及しているという話だったが印象としてはガソリン車と電気自動車で半々、また中国国内メーカー車が7割程度で日本では見たことの無いメーカーの車が大半であった。電気自動車のおかげで街の空気も清々しく感じた。
- 工場の管理体制は昔ながらの雑然とした雰囲気のところは健在。

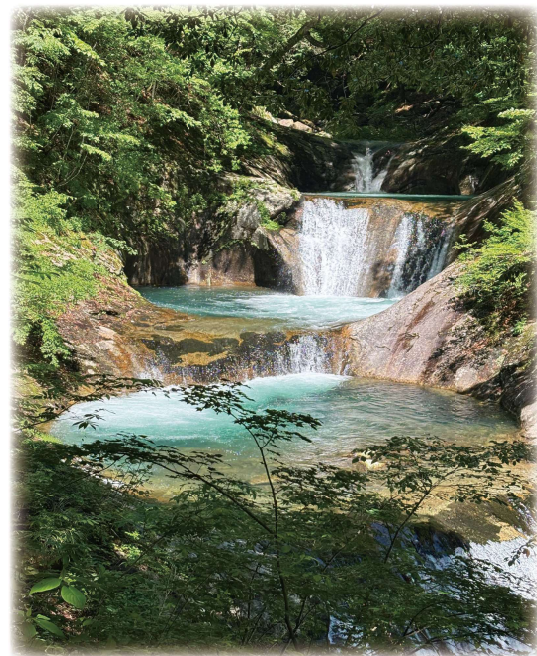
やはり製造する商品の付加価値によって作られる環境も変わっていくことを実感した。

山登り

金子 佐知子（東京オフィス）



子供の頃から親しんできた山登りを今も楽しんで続けています。神奈川県の大山（おおよま）や塔の岳、金太郎伝説の残る金時山。ガマの油売りで有名な茨城県の筑波山。奥多摩では定番の御岳山（みたけさん）や大岳山。小説にもなった大菩薩峠や妙義山、蓼科山などです。仲間や息子たちとタイミングが合えば、関東近郊の山なら早朝から気軽に出かけて行きます。でも昔は単独峰の登頂を目標に登ってきましたが、最近は体力的なことも考えて縦走形式に



変えることにしました。高尾山もいくつかの山のピークを越えていく15 ㌾の縦走を楽しんでいます。先日は夫と二人で山梨県にある西沢渓谷まで行き10 ㌾のトレッキングと森林浴をしてきたのですが、木漏れ日を浴びながら空を見上げていると足元の小石につまずきそうになったり。景色を楽しむと共に、ケガなく無事に下山できたことをお互いに褒め合っていました。そんな親に不安を抱いたのか、息子からYAMAPという登山地図GPSアプリをインストールするように言われました。現在地の把握は勿論のこと、その山に登ったことのある人のルートや所要時間、落石やクマ出没などの注意事項、そして写真などが投稿されているので予めイメージができ安全な登山ができます。私たちが登った日の投稿もすでに何件かアップされていました。次回は私達も投稿にチャレンジしてみようかな?と考えています。